

シカ対策シンポジウム 東京の森林を考える

東京都は、緑あふれる東京の再生を目指し、「緑の東京10年プロジェクト」を展開しています。

大都市東京に隣接する西多摩地域。

そこには東京の面積の約1/4を占める森林が広がり、巨大な都市域のすぐ近くとは思えない、豊かな自然が息づいています。

今、その森林の生態系のバランスが危機に瀕しています。

近年の地球温暖化等の影響により、生息するニホンジカの数が増大し、下草や樹皮までが食べられるなど、森林の荒廃が進み、生き物の多様性も失われようとしています。その結果、山の斜面が崩壊するなど、都民の水がめとしての機能にも問題が起きています。

西多摩地域の森林は埼玉県や山梨県につながる関東山地の一部をなしています。

シンポジウムでは、両県と共催で、これらの問題に関する現状と課題について考えていきます。

「シカ問題に興味を持つ方」はもちろん、「これまで知らなかったという方」も、ぜひご参加ください。

日時：10月21日（日） 午後1時から午後5時

場所：都民ホール（都議会議事堂1階）

新宿区西新宿 2-8-1（地図は裏面）

1 基調講演

高槻 成紀 氏（麻布大学獣医学部）

2 被害地からの報告

東京都・山梨県・埼玉県の状況について報告

3 パネルディスカッション

コーディネーター

三浦 慎悟 氏：野生動物学（早稲田大学人間科学学術院）

パネリスト

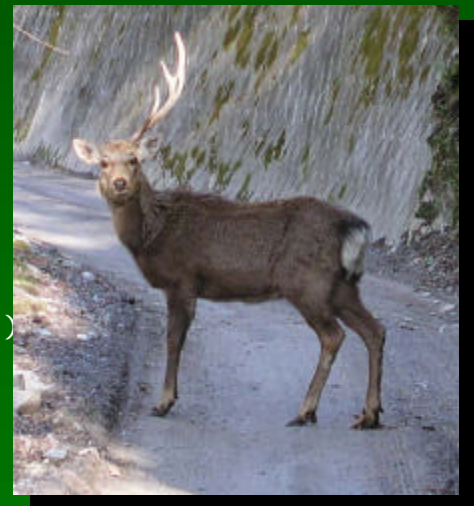
高槻 成紀 氏：野生動物学（麻布大学獣医学部）

星野 義延 氏：植物生態学（東京農工大学農学部）

杉本 幸子 氏：環境教育（株自然教育研究センター）

山崎 靖代 氏：林業家（青梅市在住）

山根 正伸 氏：丹沢のシカ対策（神奈川県自然環境保全センター）



【お申込み】

参加費無料。180名を越える場合は抽選。

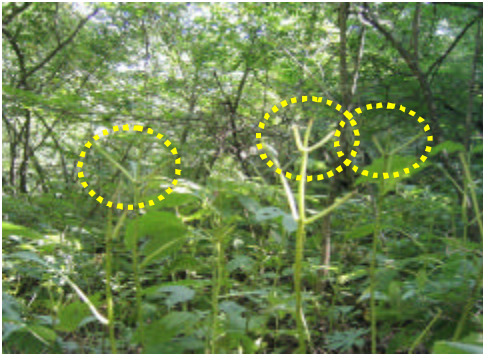
10月5日（消印有効）までにハガキまたはE-mailに住所・氏名・電話を書き、下記まで。

〒163-8001 東京都環境局自然環境部 森林再生係
E-mail: S0000631@section.metro.tokyo.jp

主催：東京都 / 共催：埼玉県・山梨県

協力：NPO法人森づくりフォーラム

森林で何が起こっているか



林床植物がシカに食べられる



シカの届く高さの植物がなくなる



天然林へのシカによる樹皮はぎ被害

撮影：埼玉県環境科学国際センター



ササ類の枯死



造林地での表土の流出



深い侵食による岩石の露出

地域により見かけなくなった植物



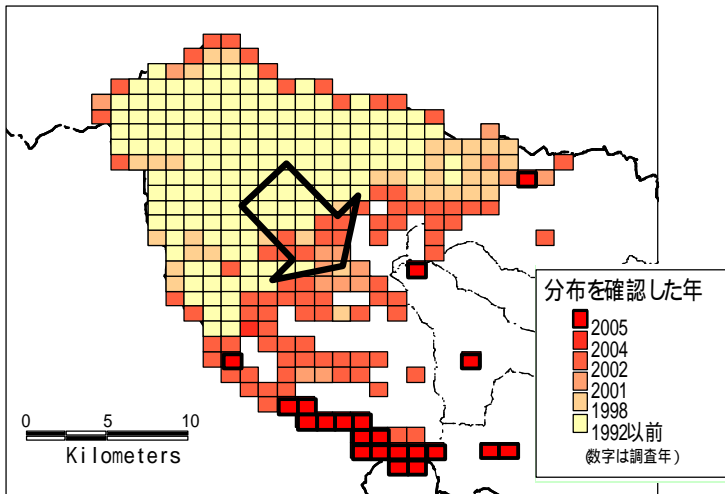
撮影：青木繁伸（群馬県前橋市）

上:レンゲショウマ
下:シオガマガク

ヤナギラン

コオニユリ

東京におけるシカ分布の拡大



□: シカが分布する 1km メッシュ

【会場案内】

都民ホール（都議会議事堂 1 階）
新宿区西新宿 2 - 8 - 1

入口は北側（住友ビル側）のみ

